



Press Release

公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団
〒530-8341 大阪市北区芝田二丁目 4-24
TEL 06-6375-3202 FAX 06-6375-3229

第 6 回連続講座

「『いのち』を考える」の開催

J R 西日本あんしん社会財団では、平成 24 年度より、死や悲嘆・グリーフケアをはじめ、多様な観点から「いのち」に焦点を当て、ともに考える連続講座を開催しているところです。

10 月より、第 6 回連続講座「『いのち』を考える」～あなたにとって「いのち」とは～をテーマに下記のとおり開催することといたしましたのでお知らせいたします。

1. 日 時 平成 26 年 10 月 3 日から平成 26 年 11 月 7 日の毎週金曜日 18:30～20:00 (計 6 回)

2. 会 場 毎日新聞オーバルホール (J R 大阪駅より徒歩 8 分)

3. 講 師 (敬称略)

①	10/3	飯田 史彦	飯田史彦メンタルヘルス・マネジメント研究所所長、社会奉仕施設「光の学校」校長 (京都市三条御幸町)
②	10/10	池永 昌之	淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院副院長
③	10/17	菅野 典雄	福島県飯舘村村長
④	10/24	木村 利人	早稲田大学名誉教授
⑤	10/31	鎌田 東二	京都大学こころの未来研究センター教授
⑥	11/7	高木 慶子	上智大学特任教授、上智大学グリーフケア研究所特任所長

※詳細は、別紙参照。

4. 主催等

主催：公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団
協力：西日本旅客鉄道株式会社

5. 定 員

480 名 (参加無料)

6. 応募方法

- ・ホームページ (<http://www.jrw-relief-f.or.jp/>) から応募ください。
 - ・6 週連続して出席いただける方を対象とします。
 - ・締切日：平成 26 年 8 月 29 日 (金)
 - ・応募多数の場合は抽選の上、結果をメールでお知らせします。
 - ・受講には受講証が必要です。(9 月 16 日頃発送予定)
 - ・ご応募でいただいた個人情報は、当講座の運営及び財団からのお知らせ以外の目的には使用しません。
- ※上記による応募が出来ない場合は、ハガキに「連続講座受講希望」と明記の上、氏名・フリガナ、郵便番号、住所、電話番号を記載し、下記の宛先へお送りください。結果は受講証の発送をもって代えさせていただきます。(ハガキ 1 枚につき 1 名様のご応募とさせていただきます。)

〒530-8341 大阪市北区芝田二丁目 4 番 24 号
公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団

7. その他

- ・都合により急遽講演内容等を変更する場合があります。
- ・当日の取材はお断りさせていただきます。
- ・講座の内容は、ホームページ (<http://www.jrw-relief-f.or.jp/>) でもご覧いただけます。

別紙

第6回連続講座『いのち』を考える 講師プロフィール

日程	講師（敬称略）	プロフィール
10/3 (金)	飯田 史彦（いいた ふみひこ） 元・福島大学経済経営学類教授、飯田史彦メンタルヘルス・マネジメント研究所長、社会奉仕施設「光の学校」校長（京都市三条御幸町） 【演題】「生きがいの創造 ～科学的スピリチュアル・ケアの理論と方法」	200 万部を超えるベストセラーとなり各国で翻訳された「生きがい論」シリーズの著者として、『完全版・生きがいの創造 ～スピリチュアルな科学研究から読み解く人生のしくみ』、『ツインソウル ～死にゆく私が体験した奇跡』、『歩き続ける ～生きるのがイヤになったあなたへ』（いずれもPHP）、『いのちの伝言 ～光の世界へ旅立つ前に』（小学館）など、20冊を超える著書を発表。日本看護学会・学術集会の特別講演など、医療関係の学会・研究会の講師を数多く担当している。
10/10 (金)	池永 昌之（いけなが まさゆき） 淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院副院長 【演題】ホスピスで『いのち』を考える	平成2年3月 宮崎医科大学医学部卒業 平成2年6月 淀川キリスト教病院 内科勤務 平成5年10月 淀川キリスト教病院 ホスピス科勤務 平成24年11月 淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院副院長
10/17 (金)	菅野 典雄（かんの のりお） 福島県飯館村村長 【演題】「お金の世界」から「いのちの世界」へ	帯広畜産大学草地学科卒業 昭和45年から酪農業に従事、飯館村酪農青年同志会 初代会長、福島県酪農青年研究連盟 会長などを務める。全国酪農青年婦人会議 副委員長、飯館村公民館長などを経て、平成8年10月飯館村村長初当選となり現在5期目 著書に「男からのラブレター」「わが思い 熱く 強く」「美しい村に放射能が降った」など。
10/24 (金)	木村 利人（きむら りひと） 早稲田大学名誉教授 【演題】「いのち」を「幸せ」に生きるために ～態度に示す人生を～	早稲田大学第一法学部卒業(1957)。同大学大学院博士課程修了(1964)、博士(人間科学)。1965年、タイ・チュラロンコン大学講師、1970年、71年ベトナム・サイゴン大学で研究と教育に従事。その後、1972年スイス・ジュネーブ大学大学院教授、世界教会協議会(WCC)エキュメニカル研究所副所長。1978年アメリカ・ハーバード大学研究員。1980年ジョージタウン大学・ケネディ倫理研究所・国際バイオエシックス研究部長及び同大学医学部客員教授など、約40年にわたりバイオエシックスのバイオニアとして研究と教育に従事。その間、国際バイオエシックス学会及び日本生命倫理学会の設立理事会の一員も務める。1987年、早稲田大学人間科学部創設にあたり、日本で最初のバイオエシックス講座担当教授に就任し、研究と教育を推進。
10/31 (金)	鎌田 東二（かまた とうじ） 京都大学こころの未来研究センター教授 【演題】「日本文化から<いのち>の問題を考える」	國學院大學文学部哲学科卒業。同大学院文学研究科博士課程神道学専攻単位取得退学。岡山大学大学院歯学総合研究科社会環境生命科学専攻中退。文学博士。NPO法人東京自由大学理事長。身心変容技法研究会代表。 著書に、『翁童論』4部作、新曜社、『宗教と霊性』『神と仏の出逢う国』『古事記ワンダーランド』角川選書、『霊性の文学』『聖地感覚』角川ソフィア文庫、『現代神道論 - 霊性と生態智の探究』春秋社、『究極 日本の聖地』KADOKAWA、『歌と宗教』ポプラ新書他多数。
11/7 (金)	高木 慶子（たかき よしこ） 上智大学特任教授、 上智大学グリーンケア研究所特任所長 【演題】「私にとっての『いのち』は『他者を愛する力』です」	聖心女子大学文学部心理学科卒業。上智大学神学部修士課程修了。博士(宗教文化)。「生と死を考える会全国協議会」会長、「兵庫・生と死を考える会」会長。援助修道会会員。二十数年来、終末期にある人々のスピリチュアルケア、及び悲嘆にある人々の心のケアに携わる一方、学校教育現場で使用できる「生と死の教育」カリキュラムビデオを制作。幅広い分野で全国的にテレビや講習会で活躍中。著書に「死と向き合う瞬間-ターミナル・ケアの現場から」、「大震災・生かされたいのち」、「喪失体験と悲観-阪神淡路大震災で子どもと死別した34人の母親の言葉」など多数。